

ビタミンC
最前線

温度応答性スマートナノカプセル
(ナノマシン)の化粧品への応用

開催日時

2026年 6月13日(土) 8:00 ~ 9:00

会場

第8会場 (国立京都国際会館 2F Room B-2) : 140席

特典

アンケートにお答えいただいた方に

製品1ヶ月見本プレゼント!

アンケートにお答えいただいた方に、製品1ヶ月見本をプレゼントさせていただきます。
プレゼントはアンケートと引換えとなりますので、ご記入後は出口付近の弊社スタッフにお渡しください。

座長：
近畿大学 名誉教授
/ 寺田萬寿病院 皮膚科
川田 暁 先生



演題1

温度応答性高分子が拓く
細胞分離・組織構築・薬物送達の新機軸

温度変化に反応して物性が変化する温度応答性高分子ポリ(N-イソプロピルアクリルアミド) (PNIPAAm)は、体温付近で疎水性や分子構造が可逆的に変化する特性をもち、医療分野で多様な応用研究が進められている。本講演では、演者が開発してきた温度応答性高分子を用いる細胞活性維持型の細胞分離法、温度応答性高分子を利用した細胞シートなどの細胞組織の作製技術、さらに細胞への取り込み挙動を温度制御するドラッグデリバリーシステム(DDS)について紹介する。



発表者

広島大学
大学院医系科学研究科
教授

長瀬 健一 先生

演題2

ナノマシン製剤の尋常性ざ瘡に対する効果の検討

ビタミンC誘導体は、抗酸化作用や抗炎症作用、コラーゲン生成促進作用等を有していることから、尋常性ざ瘡、とくに炎症後色素沈着(PIH)や炎症後紅斑(PIE)、痤瘡瘢痕等に効果を発揮することが知られている。一方で、ナノマシンは、基底層等の特定の部位へのターゲティング(特定部位に局部的に成分を届ける)機能を有したナノカプセルであり、ビタミンC誘導体の効果をより高める可能性が考えられる。そこで今回は、3種のビタミンC誘導体を包接したナノマシン配合製剤のPIHやPIE、痤瘡瘢痕等に対する効果について検討したので報告する。



発表者

医療法人信和会
明和病院
皮膚科部長・
にきびセンター長

黒川 一郎 先生

演題3

ビタミンC 内包ナノマシン技術による次世代化粧品の提案

ナノマシンは環境応答性を持つナノオーダーサイズのカプセルであり、内包した成分の生体組織の標的部位への取り込みを強化することができる。環境応答性はカプセル外殻を構成する高分子等によって決定されるが、設計次第であらゆる組織へのターゲティングが可能であると考えられており、多様な疾患への検討が進められている。ビタミンC誘導体はその種類によりビタミンCよりも高浸透性が報告されているが、ターゲティング機能は持たず、濃度勾配による拡散によって皮膚組織へと浸透していく。そこで今回は、ナノマシンに内包することでターゲティング機能を持たせたビタミンC誘導体を配合した当社化粧品について詳しく紹介する。



発表者

株式会社アイ・ティー・オー
開発・製造部
研究員

山本 鴻貴

共催：第125回 日本皮膚科学会総会 / 株式会社アイ・ティー・オー

